



湿地 自然海浜の未来考える

公民館からオンラインで会議参加
カーミーギー未来クの中・高校生

湿地や自然海浜の保全活動に取り組んでいる団体や子どもたちが交流する「湿地祭りジュニアコース」会議（漫湖水鳥・湿地センター主催特別行事）が、21日オンライン形式で開催され自治会のカーミーギー未来クラブメンバー8人も公民館から参加しました＝写真。公民館では初めてだが、子ども達は授業を通して画面と音声での意見交換も日常の風景。堂々と活動を報告し夢や感想を語り合っていました。



総会開催実現目指す

3年ぶり 29日予定

コロナ感染拡大の影響で2年度にわたって総会開催を見送らざるを得なかったが、評議員会では「多少のリスクは残っているが、何とか今年度は開催したい」と考えています。感染対策を徹底しながら、29日（金）

実施に向け準備を急いでいます。区民の皆さんの理解とご協力をお願い致します。

会長選立候補者募ります

自薦、他薦問わず。任期1年。手当月額25,000円。総会での選出です。受付締切14日午後5時。

わ～い 今年も豊作だ！

秋に植えたジャガイモ収穫
独居高齢者にもおすそ分け



青少年未来育成部昨年から本格的に取り組んできた「ジャガイモ栽培」体験事業、23日多くの児童生徒、父母が参加して、大小数百個の収穫が出来ました。昨年11月嘉陽宗保さんの指導協力で耕作から植え付け、肥培管理など成長を見守りながらの収穫です。子どもたち、父母の喜びもひとしおでした。お父さんや中・高校生が中止になつてスコップで掘り出し、小学生は土を払いながら大小選り分けて整理していく。チームワークでの収穫体験でした。写真収穫したジャガイモは公民館での行事やカレーパーティーなどに利用するほか、23日には近隣の家庭や地域の独り暮らし高齢者の自宅を訪ね、作りたてのカレーライスと一緒に数個づつ小分けして「おすそ分け」

写真＝しました。

ご寄付に感謝します

「居場所活動支援」

◆ゆがふホールディングス（前田裕継代表取締役）は、建設中の複合ビルでの子どもたちの壁画制作へのお礼として、この程金一封と大量のお菓子の寄贈がありました（上写真）



◆空手教室指導の銘荊徳人さん（6班・評議員）は、今年も自宅近くに設置している自販機の売上収益金を寄贈下さいました（下写真）。

【香典返し】銘荊好子さん（3班）は、故母・島袋 菊さんの香典返しとして金一封。また、照屋寛信さん（6班）は1月に逝去された故兄・正勝さんの香典返しとして、金一封を寄贈下さいました。

【一般寄付】公民館隣接の牧港中央バプテスト教会は24日、金一封。貴重なご支援として地域・居場所活動の一層の拡充に活かしていきます。本当にありがとうございます。

第4回「もったいない市」

とき 23日（土）予定

午前10時～12時

ところ 公民館

ご協力お願いします